

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のぞみ学園			
○保護者評価実施期間	2025年12月22日～2025年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年12月22日～2025年12月24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族・学校との連携	毎日連絡帳を渡して内容を把握してもらい 送迎時には口頭で伝えている 学校に訪問し連携を計っている	
2	学習習慣の習得	毎日宿題がある子は宿題をし宿題のない子は興味の出そうな 課題を提供している 座る時間を定着化させる	
3	自宅と学校の中間的な存在	保護者の考えを確認し日常動作・言動を注意深く確認して 適切に指導を行っている 学校からの連絡帳も毎日確認している	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童館などとの連携がなされてない	感染予防を考えすぎて公園には言っているが 児童館等との連携をしていない	感染対策を考慮し連携を図っていきたい
2	協議会等への参加がなされてない	いつどこで協議会が行われているのか自分で調べてないの でわからないままになっている	時間を調整して参加していきたい
3	イベントへの地域住民の参加がなされてない	感染予防を考えすぎてイベントへの参加を最小限にとどめている	感染対策を考慮し地域の方との交流を深めて行きたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		のぞみ学園							公表日	2026年1月20日	
		利用児童数 15 (兄弟2組)							回収数	12	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				記入なし	安全に配慮しスペースの確保を維持している			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12				記入なし	利用人数・介助内容を考慮し適切な職員を配置している			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			1	記入なし	指導訓練室バリアフリー、トイレ洗面は障害特性に対応している。相談室はパーテーションで区切られており談話の漏洩等はない			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				記入なし	支援内容に応じて訓練室・ホールを使用している業務開始前終了後適切に、清掃を行い清潔を保っている			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				記入なし	障害特性だけではなく児童の特性に沿った支援を行っている			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12				記入なし	公表する支援プログラムを隨時考慮し児童に対して支援している			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				記入なし	保護者・児童にアセスメントを行い児童の課題に合わせ支援計画を作成している			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				記入なし	その都度必要な支援項目を設定し分かり易い支援目標を設定している			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				記入なし	支援計画の目標を周知し職員の支援内容を徹底している			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1		2	記入なし	児童の興味がある課題を作成しその都度必要なプログラムを考慮している			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	1		2	記入なし	感染予防の為交流が出来ていなかったが兄弟や近くの子供達は来もらっている			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				記入なし	保護者へ行事内容・利用者の負担について適時お知らせを発行し丁寧な説明を行っている			
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				記入なし	支援計画を示しながら一層丁寧な説明を行っている			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11			1	記入なし	随時保護者に対して日常の行動をお知らせし障害に対する理解を深めていき保護者会等で情報交換の場を持っている			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12				記入なし	連絡帳と保護者に対しての申し送りを毎日行い保護者との連絡を密に取り共通理解を職員にも徹底している			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				記入なし	悩み・相談をしやすくし適切な対応と助言を行っている			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				記入なし	支援計画を周知徹底し支援を行っている			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11			1	記入なし	定期的に行っている保護者会に兄弟も参加してもらい家族への支援も継続に行っている			
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1	記入なし	保護者からの面談希望は適時行い職員に対して申し送りしている			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				記入なし	連絡帳・申し送りで意思の疎通を行っている			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		1	記入なし	通信の発行はしていないがLINEを活用し毎日の活動を保護者に対して発信している			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				記入なし	全職員に対して歩人情報保護の誓約書を取り個人情報の取り扱いについて周知徹底している
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		1	記入なし	保護者への各種マニュアルの周知徹底を行っていく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		1	記入なし	訓練実施情報を隨時保護者へ伝えて行く
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1	記入なし	児童の安全を最優先に支援を行っている
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1	記入なし	重大事故はないが怪我等の連絡は速やかに保護者に行っている
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				記入なし	保護者・児童が安心して通って来れるようにしていく
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				記入なし	楽しみ続けて貰えるようにしていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				記入なし	満足し続けて貰えるようにしていく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		のぞみ学園				公表日	2026年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		活動スペース・勉強スペースを分けて動きやすい動線を確保している		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		職員の配置は適切に行いそれにプラスして長年来てもらっているボランティアさんもいる		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		トイレ等空間は十分ありバリアフリーになっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		活動開始前に清掃・消毒等を適切に行い清潔を保っている		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		ソファーベッド等があり個別の空間を設けている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		目標設定に対して支援が行えているかを毎日の振り返り・申し送りで確認している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表を基に保護者の意向を確認している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員の意見が発言しやすい環境を整っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者による外部評価を行っていない	第三者による外部評価を検討していきたい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		定期的な研修を行っている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムをホームページで公表する予定である		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		アセスメントを行い5領域に沿った計画を適切に作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員全員で計画を立案し共通理解の下、それぞれの児童に沿った計画を立てている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		計画に沿った支援を行っている		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の行動観察等を適切に行い確認している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		本人支援・家族支援を踏まえて項目を考え支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員全員で立案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		固定化しないように興味のある物を盛り込んで活動支援している		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動と集団活動を時間で区切り支援を行っている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前に申し送り・活動内容の確認を行い連携している		

	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後には支援の振り返りを行い出勤していない人にもグループラインで特記事情は伝えている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援の記録を必ず行い、各職員から支援内容について申し送りを行っている	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的なモニタリングを行い適切な見直しを行っている	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2	2	4つの基本活動を組み入れていない時もある	今後基本活動を組み合わせて支援を行っていく
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		児童が分かり易く選択できるように何種類かの課題を提示して支援している	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者会議の連絡があれば必ず出席している	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		児童の通っている学校と連携して課題等を提供し支援を行っている	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校の行事予定は保護者からと学校のホームページから確認し毎日の送迎時に様子の確認をしている	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		可能な限り保育所などに見学に行っている	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		可能な限り卒業後にいく事業所と連絡を取り情報を提供している	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイトや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	児童発達支援センターとの連携は行ってない	今後連携をしていく
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	交流はないが公園などに行き地域の子供と接する機会を設けている	今後交流機会を検討していく
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		4	協議会に参加していない	今後参加を検討していく
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		毎日の送迎時に状況を伝え電話・LINEで共通理解を計っている	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	家族支援は行っているが家族の参加できる研修の機会がない	今後参加を検討していく
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用開始時に適切に利用負担等を伝え、変更ある場合は変更部分を抜粋した書類を作成している	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		定期的なモニタリングを行い意思の尊重を行っている	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		適切に支援内容の説明を行い同意を得ている	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		適時相談に応じて助言を行っている	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		年に一度の保護者会を開催し兄弟も参加してもらっている	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった時は全職員に周知して適切に対応している	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		LINEを活用し写真・動画で活動内容などを発信している	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		全職員に個人情報保護の契約を取っている	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		自宅と学園での様子の違い等を配慮して情報提供している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	地域住民を招待した事はない	今後招待を検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	マニュアルはあるが保護者に周知されてない	今後周知されるように発信していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練を年2回行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		利用開始時に既往歴・主治医の確認を行って状況を確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		アレルギー等の確認を行っているがアレルギーのある子どもは現在いない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		常時安全を確保して支援が行われている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4	家族に周知が徹底されてない	今後周知されるように発信していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットを共有し再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止の研修会を開催し適切な支援を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束を行う子供がいないが身体拘束についての研修は行っている	